



2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年2月13日

上場会社名 大井電気株式会社 上場取引所 東
コード番号 6822 U R L <https://www.ooi.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石田 甲
問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理本部長 (氏名) 仁井 克己 T E L 045-433-1361
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績 (2025年4月1日～2025年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
2026年3月期第3四半期	百万円 20,076	% 8.2	百万円 752	% 22.9	百万円 658	% 20.3	百万円 569	% 69.9
2025年3月期第3四半期	18,548	11.2	612	—	547	—	335	—

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 812百万円 (93.6%) 2025年3月期第3四半期 419百万円 (−%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2026年3月期第3四半期	円 銭 429.34	円 銭 —
2025年3月期第3四半期	255.91	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2026年3月期第3四半期	百万円 26,346	百万円 9,730	% 29.9
2025年3月期	23,649	8,888	29.8

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 7,867百万円 2025年3月期 7,053百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年3月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 0.00
2026年3月期	—	20.00	—	—	—
2026年3月期(予想)				50.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想 (2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
通期	百万円 33,000	% 13.6	百万円 1,500	% 1.0	百万円 1,400	% △2.1	百万円 1,050	% —

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 7 「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | ：無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | ：無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | ：無 |
| ④ 修正再表示 | ：無 |

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期 3Q	1,470,000株	2025年3月期	1,470,000株
② 期末自己株式数	2026年3月期 3Q	132,294株	2025年3月期	155,037株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年3月期 3Q	1,326,418株	2025年3月期 3Q	1,309,771株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

	頁
1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	7
(セグメント情報等の注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、経済活動の持ち直し傾向の継続、これに伴う企業の貨上げや部品調達環境の改善傾向、インバウンド需要の拡大等を背景に、緩やかな回復基調が継続しました。しかしながら、米国の政策動向の影響や長期化する地政学リスク、物価高騰や持続的な円安傾向に伴う原材料価格の変動などにより、景気先行き感は依然として不透明な状況が継続しております。

当社グループを取り巻く市場動向として、第5世代移動通信システム（5G）ネットワークを活用したサービスの普及によるトラフィックの増大や企業のデジタルトランスフォーメーション（DX）加速、クラウドサービスの多様化、生成AIの本格的な活用などが見込まれます。これらを背景にデータセンターの設置数の増加や、通信設備の大容量・高速化対応、防災・減災システムへのITの活用等、ネットワーク設備の増強需要が後押しされております。

このような状況下、当社グループにおいては、2025年度を最終年度とする中期経営計画における重点施策として、事業の選択と集中による収益力の強化、業務プロセスの効率化による原価改善の取り組み、代替部品の利用を可能とする製品開発推進等を含む調達レジリエンスの強化、社員のスキルアップやスキルに応じた人事評価制度の再構築等の諸施策に取り組んでおります。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高につきましては、情報通信機器製造販売が増加した結果、200億76百万円（前年同期比8.2%増）となりました。

損益につきましては、情報通信機器製造販売及びネットワーク工事保守において、売上高の増加及び原価率の改善、コスト改善の努力により、営業損益は7億52百万円の利益（前年同期比22.9%増）、経常損益は6億58百万円の利益（前年同期比20.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純損益は5億69百万円の利益（前年同期比69.9%増）となりました。

以下、セグメントの概況をご報告いたします。

[情報通信機器製造販売]

光多重伝送装置事業及び電力スマートメーター向け通信機器を中心としたIoT関連装置事業の売上が増加したため、売上高は前年同期より13.6%増の126億円となりました。セグメント損益につきましては、売上高の増加及びコスト削減の推進等により前年同期より76.5%増の7億69百万円の利益となりました。

当セグメントの各事業の概況は以下のとおりです。

①光多重伝送装置事業

光回線を活用した大容量・高速かつフレキシブルなネットワーク構成を可能とする光伝送システムを構成する機器を製造・販売しております。当第3四半期連結累計期間の当事業の売上は、主に通信キャリア向け光伝送装置が増加したため、前年同期比で増加となりました。

②IoT関連装置事業

電気・ガス・水道等の検針業務の自動化やライフラインの使用状況の見える化を可能とするスマートメーター向けの通信機器及びその他IoTに活用する低消費電力、長距離通信が可能な無線通信機器を製造・販売しております。当第3四半期連結累計期間の当事業の売上は、主に電力スマートメーター向け通信機器が増加したため、前年同期比で増加となりました。

③監視制御装置事業

電力・鉄道・官公庁・自治体の通信インフラを構築する伝送機器、監視・制御製品を製造・販売しております。当第3四半期連結累計期間の当事業の売上は、主に電力向け保安通信機器が減少したため、前年同期比で減少となりました。

[ネットワーク工事保守]

通信機器工事の売上が増加したものの、通信線路工事の売上が減少したため、売上高は前年同期より0.2%増の74億75百万円となりました。セグメント損益につきましては、通信線路工事の売上減少及び基地局工事において、利益率の悪化があったため、18百万円の損失（前年同期は1億60百万円の利益）となりました。

当セグメントの各事業の概況は以下のとおりです。

①通信機器工事・保守事業

通信機器やネットワーク設備の設置・配線・保守・点検などを行っております。主に電力会社向け工事の増加により、当第3四半期連結累計期間の売上は、前年同期比で増加となりました。

②通信線路工事・保守事業

通信サービスを提供するための物理的なケーブル（光ファイバーケーブル、メタルケーブル等）の敷設・接続・保守・点検などを行っております。主に通信キャリア向けの工事の減少により、当第3四半期連結累計期間の売上は前年同期比で減少となりました。

③基地局・その他工事

5Gに対応した携帯電話基地局の設置等を行っております。主に付随する情報システム関連事業の増加により、当第3四半期連結累計期間の売上は前年同期比で増加となりました。

なお、基地局工事件数の見通しについては、5G基地局の設置拡大が一巡したことと伴い減少傾向にありますが、セグメント全体の経営数値に与える影響は軽微です。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産の残高は、前連結会計年度末に比べ26億96百万円増加し263億46百万円となりました。これは主に、現金及び預金が6億24百万円減少、受取手形、売掛金及び契約資産が18億27百万円減少したものの、今後の生産量増加に備え仕掛品が35億25百万円増加、原材料及び貯蔵品が7億75百万円増加、有形固定資産が2億38百万円増加、投資その他の資産が2億26百万円増加したことによります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債の残高は、前連結会計年度末に比べ18億54百万円増加し166億16百万円となりました。これは主に、未払金が4億12百万円減少、賞与引当金が5億71百万円減少したものの、支払手形及び買掛金が10億6百万円増加、短期借入金が7億円増加、その他流動負債が12億30百万円増加したことによります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産の残高は、前連結会計年度末に比べ8億41百万円増加し97億30百万円となりました。これは主に、利益剰余金が親会社株主に帰属する四半期純利益5億69百万円の計上により増加、その他有価証券評価差額金が2億円増加したことによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループは、事業の関係から、情報通信機器、工事保守の完成引渡しが第4四半期連結会計期間に集中しているため、第1四半期から第3四半期における各連結会計期間の売上高に比べ、第4四半期連結会計期間の売上高が多くなるといった季節的変動があります。

連結業績予想につきましては、2025年5月13日の決算短信で公表いたしました通期連結業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日公表しました「通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧下さい。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流动資産		
現金及び預金	3,884,169	3,259,740
受取手形、売掛金及び契約資産	7,982,246	6,154,806
电子記録債権	299,258	378,162
商品及び製品	631,445	588,164
仕掛品	4,092,246	7,617,833
原材料及び貯蔵品	1,119,511	1,894,874
その他	140,210	574,701
貸倒引当金	△3,977	△2,231
流动資産合計	18,145,109	20,466,050
固定資産		
有形固定資産	3,050,254	3,288,388
無形固定資産	675,597	585,806
投資その他の資産		
その他	1,779,705	2,005,979
貸倒引当金	△704	—
投資その他の資産合計	1,779,000	2,005,979
固定資産合計	5,504,853	5,880,174
資産合計	23,649,963	26,346,225

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,393,405	3,399,952
電子記録債務	130,875	232,997
短期借入金	4,830,000	5,530,000
1年内返済予定の長期借入金	54,756	92,256
未払金	1,296,155	883,777
未払法人税等	260,737	28,787
未払消費税等	217,387	38,026
賞与引当金	1,205,554	634,145
役員賞与引当金	20,448	10,175
工事損失引当金	358,708	390,351
資産除去債務	1,761	681
その他	610,298	1,840,788
流動負債合計	11,380,087	13,081,939
固定負債		
長期借入金	393,598	602,531
役員退職慰労引当金	41,235	25,545
退職給付に係る負債	2,611,302	2,595,273
資産除去債務	84,781	84,781
その他	250,322	226,107
固定負債合計	3,381,240	3,534,239
負債合計	14,761,327	16,616,178
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,708,389	2,708,389
資本剰余金	1,401,317	1,401,317
利益剰余金	3,273,820	3,808,632
自己株式	△479,526	△408,748
株主資本合計	6,904,000	7,509,590
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	259,780	460,457
退職給付に係る調整累計額	△110,050	△102,543
その他の包括利益累計額合計	149,730	357,914
非支配株主持分		
純資産合計	8,888,635	9,730,046
負債純資産合計	23,649,963	26,346,225

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	18,548,286	20,076,181
売上原価	14,710,354	15,788,713
売上総利益	3,837,931	4,287,468
販売費及び一般管理費	3,225,778	3,535,116
営業利益	612,153	752,351
営業外収益		
受取利息	265	2,508
受取配当金	12,020	14,125
受取賃貸料	19,951	19,292
貸倒引当金戻入額	1,994	1,746
その他	26,565	19,436
営業外収益合計	60,798	57,109
営業外費用		
支払利息	82,891	68,600
為替差損	31,688	65,685
その他	11,034	16,497
営業外費用合計	125,614	150,783
経常利益	547,337	658,677
特別損失		
減損損失	—	8,304
特別損失合計	—	8,304
税金等調整前四半期純利益	547,337	650,373
法人税等	125,454	58,052
四半期純利益	421,882	592,320
非支配株主に帰属する四半期純利益	86,696	22,842
親会社株主に帰属する四半期純利益	335,186	569,478

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	421,882	592,320
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	7,374	209,763
退職給付に係る調整額	△9,681	10,234
その他の包括利益合計	△2,307	219,998
四半期包括利益	419,575	812,318
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	334,883	777,662
非支配株主に係る四半期包括利益	84,692	34,656

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等の注記)

I 前第3四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計
	情報通信機器 製造販売	ネットワーク 工事保守	
売上高			
外部顧客への売上高	11,088,448	7,459,838	18,548,286
セグメント間の内部売上高又は振替高	87,592	259,720	347,313
計	11,176,040	7,719,559	18,895,599
セグメント利益	435,942	160,572	596,515

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	596,515
セグメント間取引消去	15,638
四半期連結損益計算書の営業利益	612,153

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計
	情報通信機器 製造販売	ネットワーク 工事保守	
売上高			
外部顧客への売上高	12,600,645	7,475,536	20,076,181
セグメント間の内部売上高又は振替高	102,402	310,595	412,997
計	12,703,047	7,786,131	20,489,179
セグメント利益又は損失(△)	769,258	△18,664	750,594

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	750,594
セグメント間取引消去	1,756
四半期連結損益計算書の営業利益	752,351

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「ネットワーク工事保守」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては8,304千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	372,808千円